

# アンケート結果の概要について

## アンケートの送付

平成19年11月22日（全配布数：580件）

回収率：全配布580件の内、215件（回収率37%）

区画整理権利者：440件の内、回収158件（回収率36%）

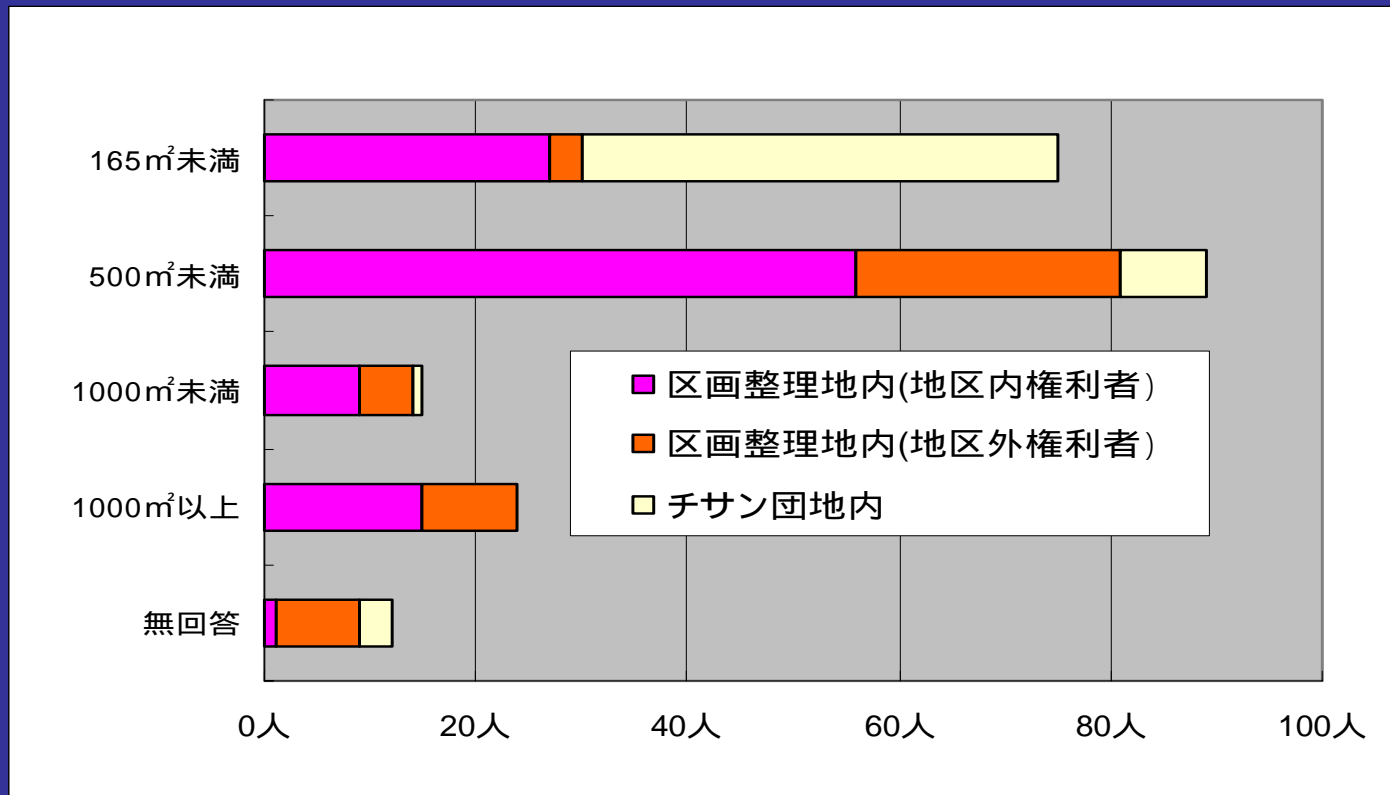
地区内236件の内、回収108件（回収率46%）

地区外204件の内、回収50件（回収率26%）

チサン団地：140件の内、回収57件（回収率41%）

内  
訳

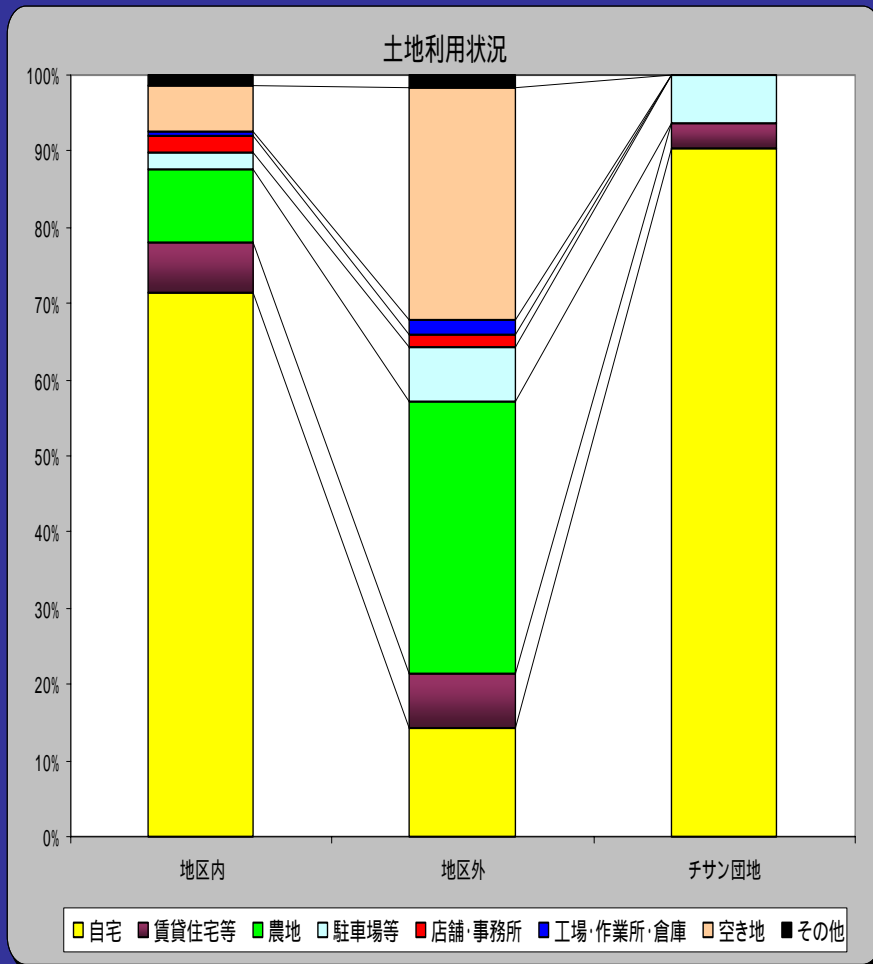
## 土地の所有状況について（規模）



・土地所有状況別に見ると、最も多い回答を得たのが、165㎡以上500㎡未満の所有規模の方となっています。全体で約41% (89件)、区画整理権利者では、51% (81件)を占めています。

・また、チサン団地では165㎡未満が最も多く、約79% (45件)となっている。

## 土地利用状況について



### < 区画整理権利者 >

・地区内権利者では自宅と答え  
た方が最も多く、72% (98件)  
となっています。

・地区外権利者では、農地と答え  
た方が最も多く36% (20件)、  
次いで、空き地の30% (17件)  
となっています。

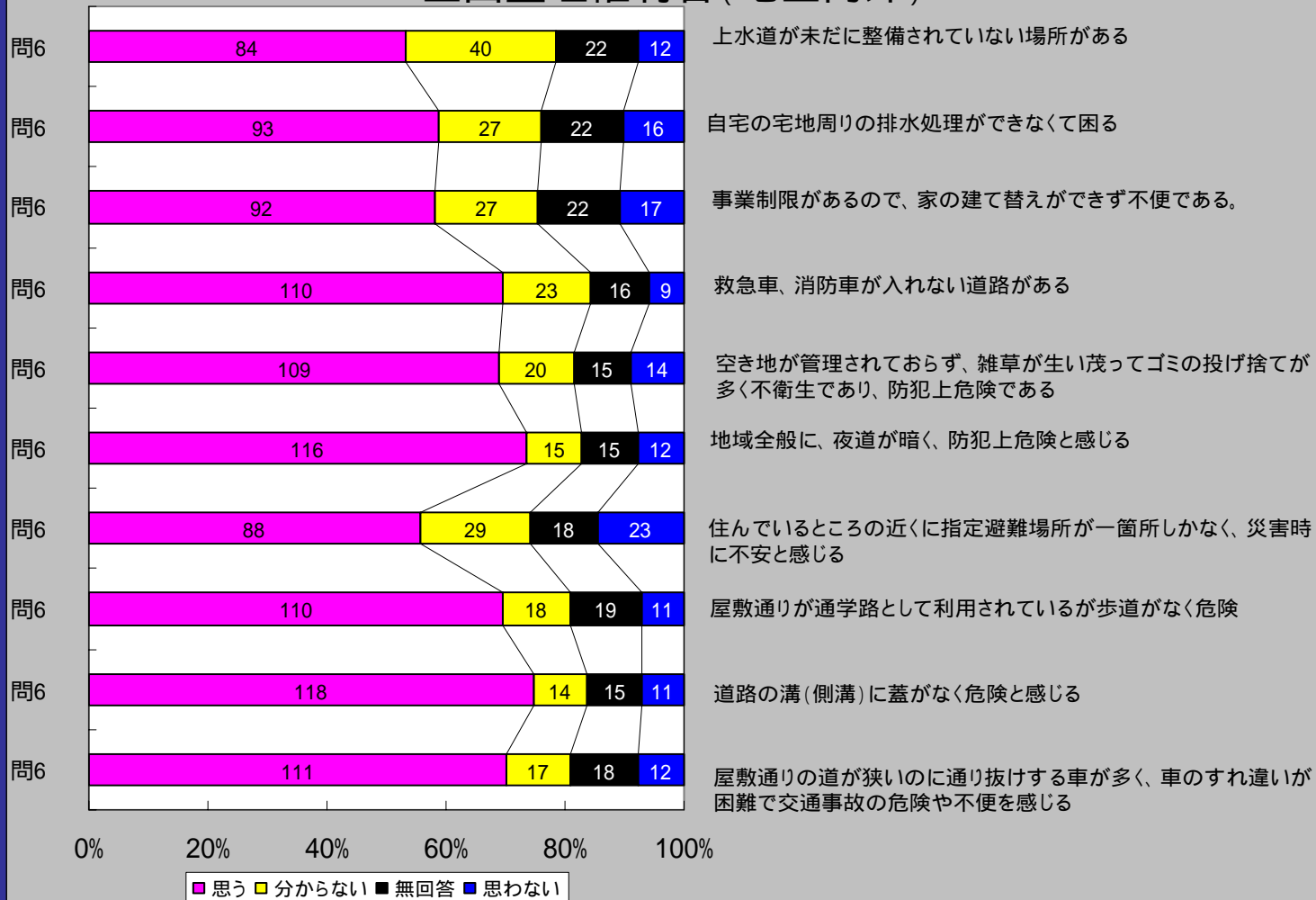
### < チサン団地 >

・また、チサン団地では殆どが自  
宅となっています。

# アンケート結果の概要について

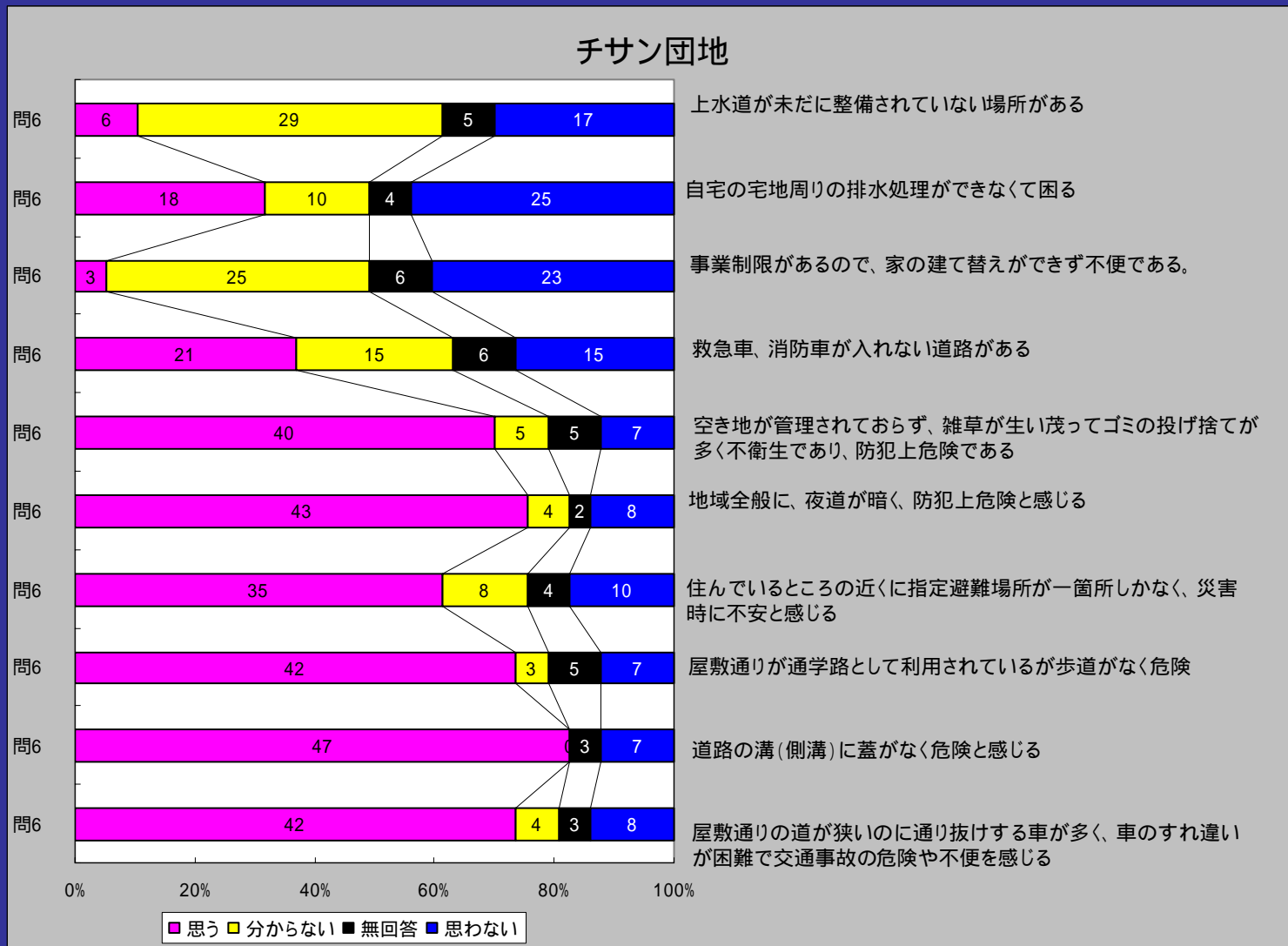
## ワークショップで出された地区の問題や不安などについて

### 区画整理権利者(地区内外)



# アンケート結果の概要について

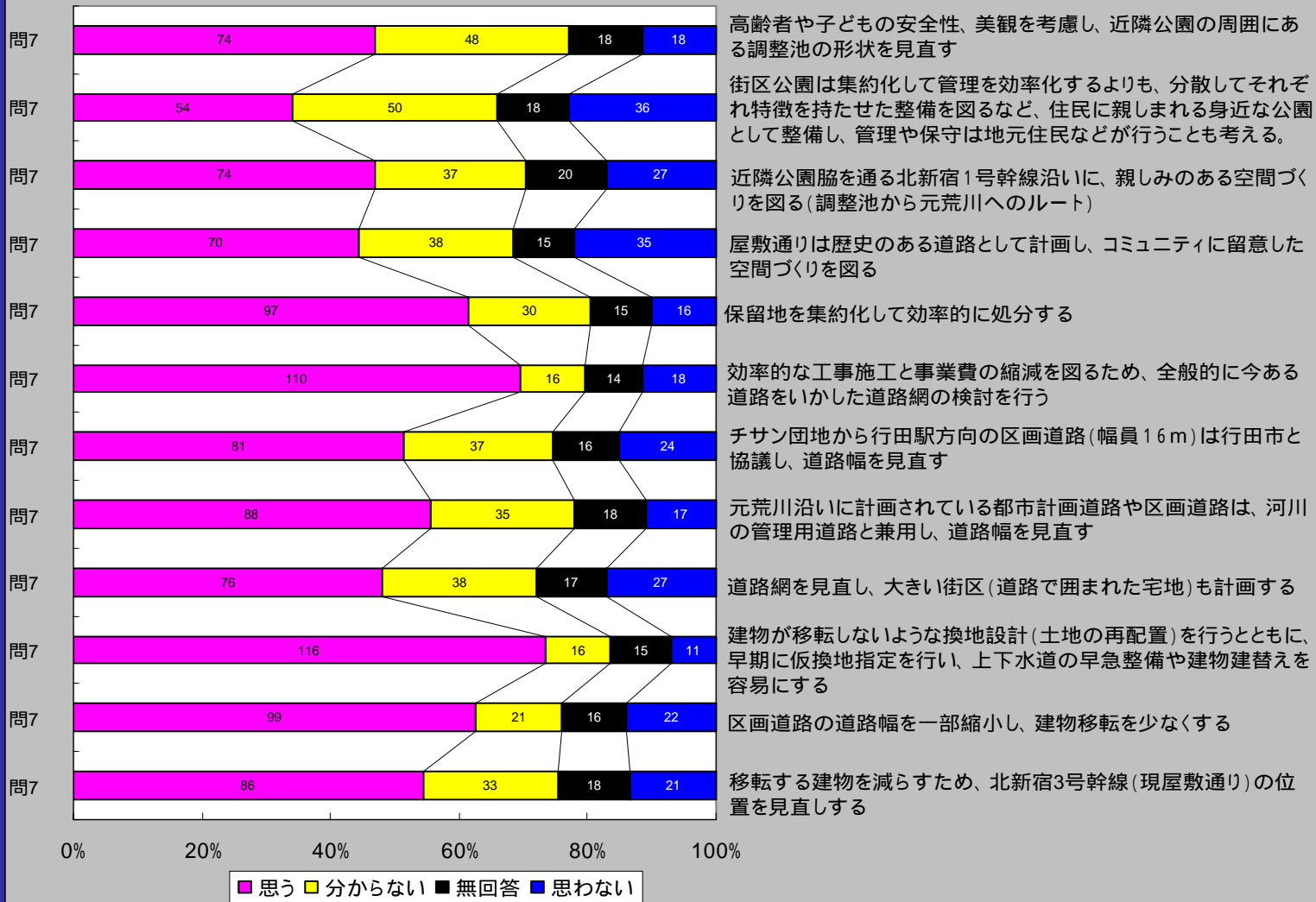
## ワークショップで出された地区の問題や不安などについて



# アンケート結果の概要について

## どのようにして事業を進めて行ったらよいか

区画整理権利者(地区内外)



高齢者や子どもの安全性、美観を考慮し、近隣公園の周囲にある調整池の形状を見直す

街区公園は集約化して管理を効率化するよりも、分散してそれぞれ特徴を持たせた整備を図るなど、住民に親まれる身近な公園として整備し、管理や保守は地元住民などが行うことも考える。

近隣公園脇を通る北新宿1号幹線沿いに、親しみのある空間づくりを図る(調整池から元荒川へのルート)

屋敷通りは歴史のある道路として計画し、コミュニティに留意した空間づくりを図る

保留地を集約化して効率的に処分する

効率的な工事施工と事業費の削減を図るため、全般的に今ある道路をいかした道路網の検討を行う

チサン団地から行田駅方向の区画道路(幅員16m)は行田市と協議し、道路幅を見直す

元荒川沿いに計画されている都市計画道路や区画道路は、河川の管理用道路と兼用し、道路幅を見直す

道路網を見直し、大きい街区(道路で囲まれた宅地)も計画する

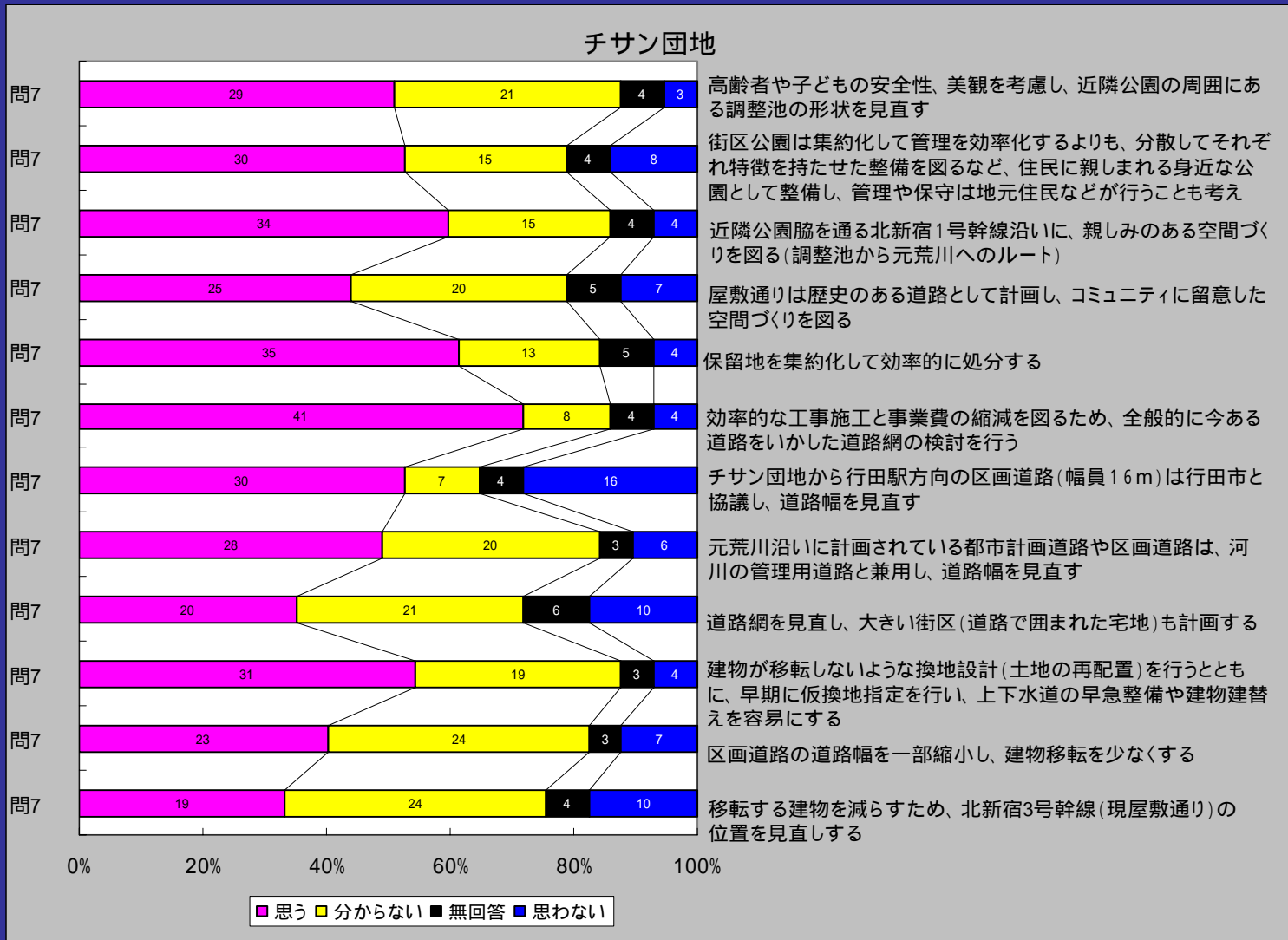
建物が移転しないような換地設計(土地の再配置)を行うとともに、早期に仮換地指定を行い、上下水道の早急整備や建物建替えを容易にする

区画道路の道路幅を一部縮小し、建物移転を少なくする

移転する建物を減らすため、北新宿3号幹線(現屋敷通り)の位置を見直す

# アンケート結果の概要について

## どのようにして事業を進めて行ったらよいか



# アンケート結果の概要について

## 問8（意見欄）

工事中の道路に外部の車の進入があり、防犯上危険である
工事が完了した未供用道路が若者のたまり場となっており、深夜の騒音がうるさく防犯上危険を感じる
事業完了の見通しが分からず、生活設計が立てられない
ごみ集積所が少なく、場所が不統一で不便
JR 南側の 6 号調整池を西に移動し、列車の撮影スポット（アングル）を確保する
事業費を下げするため、鉄道との立体交差はアンダー（架道橋）からオーバー（跨線橋）の構造に変更する
「仮換地指定前でも建物の建替えができる条例化」は、条例化できる様に検討する
アパートが多く建つことに疑問を感じる

### < 区画整理権利者 >

- ・「事業完了の見通しが分からず、生活設計が立てられない」に共感する意見が目立った。また、「JR 立体交差のオーバー構造」に賛同する意見も多く、“経費節減のために、平面交差で検討をお願いしたい”との意見もでていた。
- ・その他では、“安価で効率性を重視した整備”、“見直し可能な範囲で見直す”、「建物建替えの条例化」については、賛同する意見の他に、“条例化によって早期完成が遅れては困る”との意見がでていた。
- ・また、「撮影スポット」の確保については、否定的な意見が占めていた。

# アンケート結果の概要について

## 問8（意見欄）

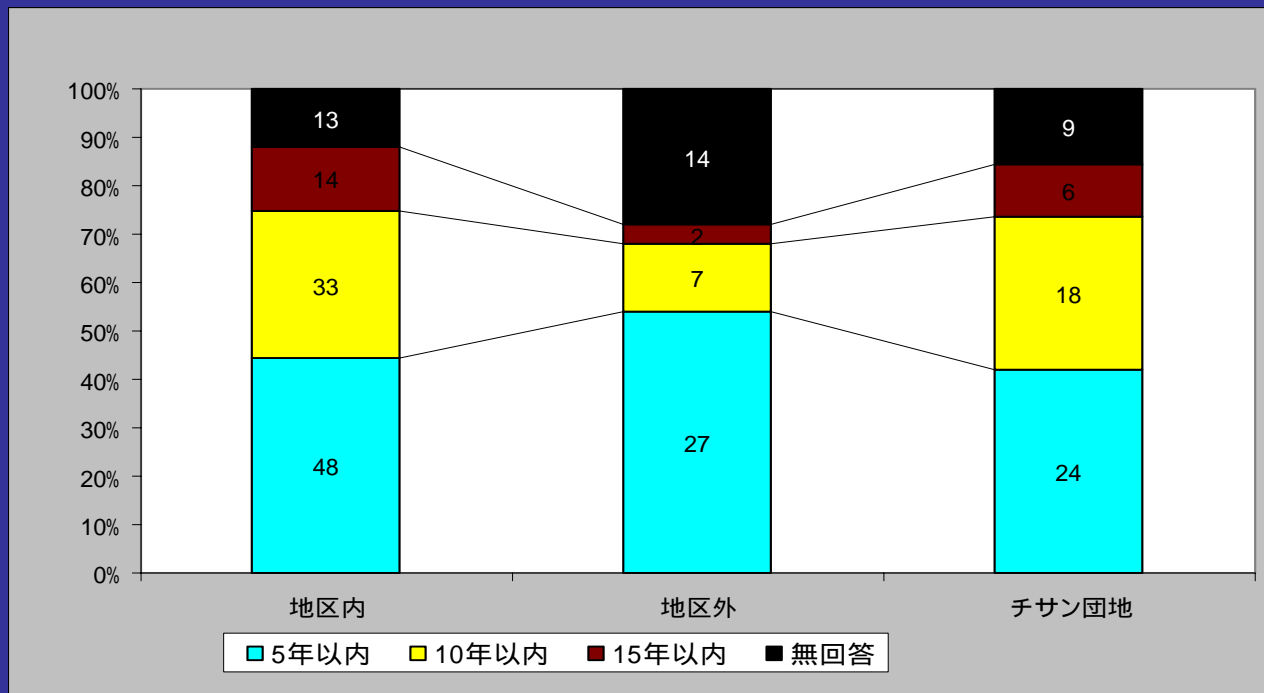
工事中の道路に外部の車の進入があり、防犯上危険である
工事が完了した未供用道路が若者のたまり場となっており、深夜の騒音がうるさく防犯上危険を感じる
事業完了の見通しが分からず、生活設計が立てられない
ごみ集積所が少なく、場所が不統一で不便
JR 南側の 6 号調整池を西に移動し、列車の撮影スポット（アングル）を確保する
事業費を下げるため、鉄道との立体交差はアンダー（架道橋）からオーバー（跨線橋）の構造に変更する
「仮換地指定前でも建物の建替えができる条例化」は、条例化できる様に検討する
アパートが多く建つことに疑問を感じる

### < チサン団地 >

- ・「ゴミ集積所の設置や管理」に関する意見や、防犯対策として「交番の設置」を望む意見が目立っていた。
- ・その他、「道路機能にメリハリをつけて、それぞれに見合った道路の数、幅員にして、できるだけシンプルにする」、「道路を碁盤目割りにして、幹線との接続を望む」などの意見や、立体交差に関するものとして“オーバー構造でよい”、“アンダー構造は長い目でみれば安全・安心である”との意見が出ていた。

# アンケート結果の概要について

## 早期完成の期間について



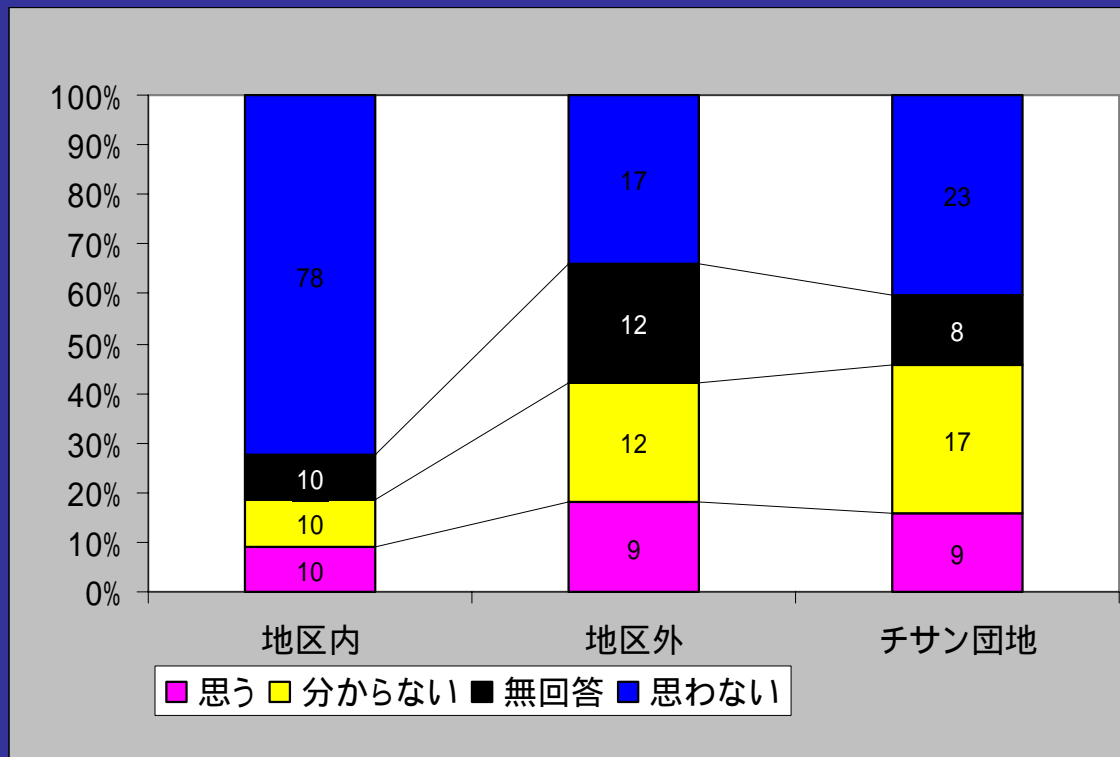
5年以内と答えた方が最も多く、次いで、10年以内という結果となりました。

・区画整理権利者で見ると、5年以内と答えた方は、地区内で44% (48件)、地区外で54% (27件)となっています。

・チサン団地では42% (24件)となっています。

# アンケート結果の概要について

年数がどんなにかかっても、現在の事業計画を見直さずにこのまま進める

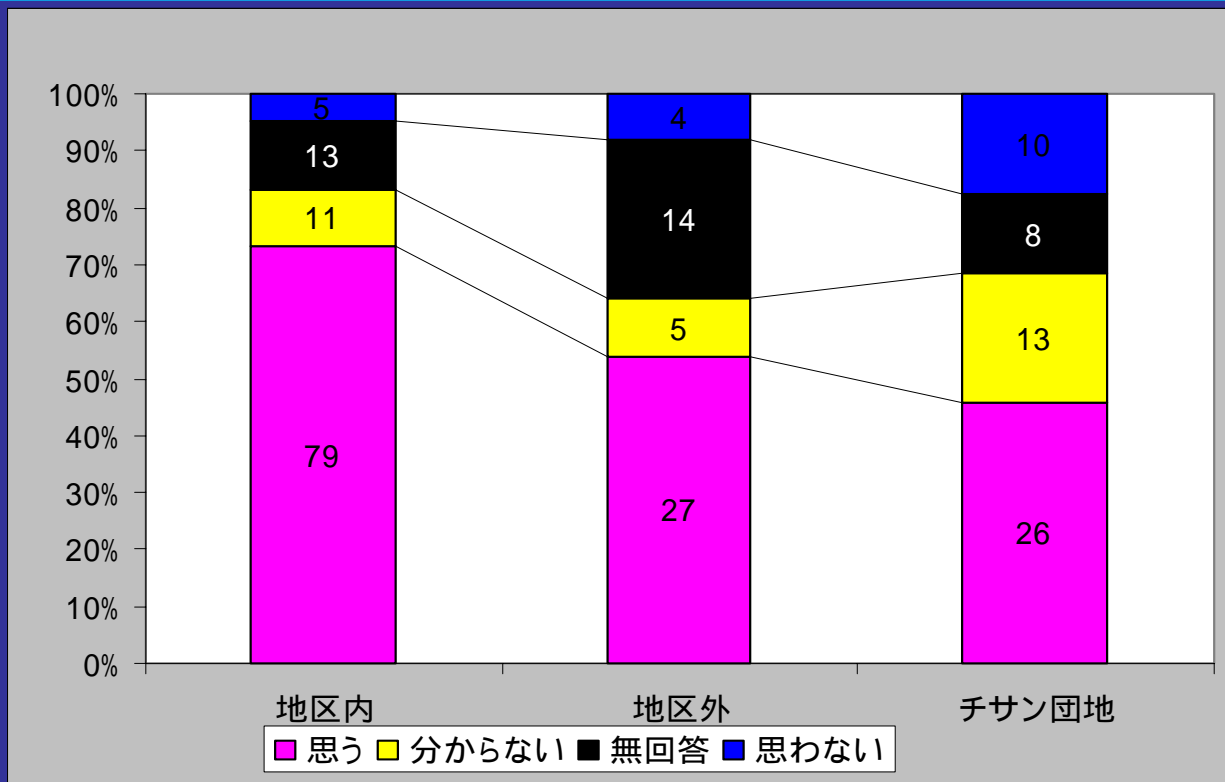


“思わない”と答えたが非常に多い結果となりました。

- ・区画整理権利者で見ると、地区外で“思わない”と答えた方は34% (17件) に留まっていますが、地区内では72% (78件) と圧倒的となっています。
- ・チサン団地では、40% (23件) で“思わない”と回答しています。

# アンケート結果の概要について

早期に事業を完成させるために、現在の事業計画を見直して進める



“思う”と答えた方が非常に多い結果となりました。

- ・区画整理権利者で見ると、地区内で“思う”と答えた方は73% (79件)と圧倒的に多く、地区外では54% (27件)となっています。
- ・チサン団地では、46% (26件)で“思う”と回答しており、“思わない”とする割合が、他と比較して高くなっています。

# アンケート結果の概要について

## 見直しによって移転とならなくなった場合どのように思うか

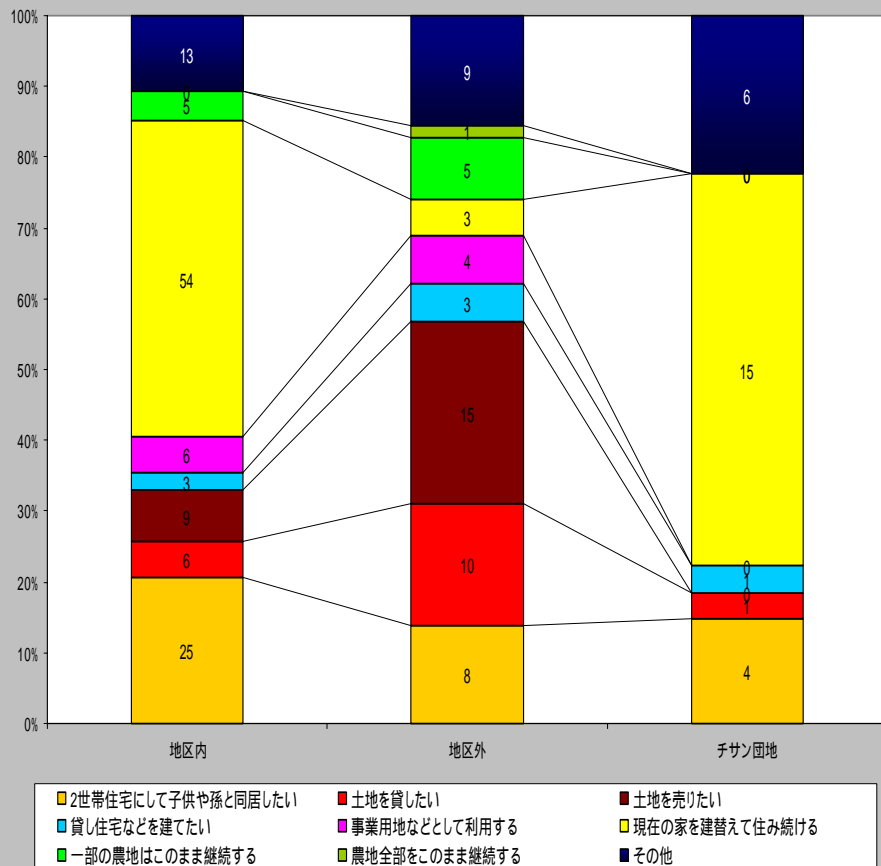
- ・地区内(59件)では、否定的な意見はごく少数であり、“大変良いこと”、“助かります”、“不要経費節減の為当然である”など、大多数で肯定的な意見が占めた。
- ・地区外(10件)では、肯定的な意見と否定的な意見に分かれた。
- ・チサン団地(10件)では、全般的に肯定的な意見が占めた。

## 見直しによって移転になった場合どのように思うか

- ・地区内(34件)では、大多数で肯定的な意見が多く、“前向きに検討する”、“補償費ほしい”などの意見があった。否定的な意見としては、“年金生活者で困る”、“移転は困る”などの意見が出ていた。
- ・地区外(10件)では、否定的な意見が占めており、“新規の移転対象は認めない”、“考えなおしてもらいたい”などの意見が出ていた。
- ・チサン団地(14件)では、全般的に肯定的な意見が占めた。

## 将来の土地利用展望などについて

将来の土地利用展望



### < 区画整理権利者 >

- ・地区内では、“現在の家を建替えて住み続ける”が最も多く、32% (57件)、関連して、“2世帯住宅にして子供や孫と同居”が18% (33件)と、次いで多くなっている。
- ・地区外では、“土地を売りたい”が最も多く、26% (15件)、次いで、“土地を貸したい”が17% (10件)となっている。

### < チサン団地 >

- ・“現在の家を建替えて住み続ける”が最も多く、56% (15件)、関連して、“2世帯住宅にして子供や孫と同居”が15% (4件)と、次いで多くなっている。

# アンケート結果の概要について

## 早期完成に向けて何を重点的に見直しを行ったらよいか

### < 区画整理権利者 >

- ・地区内(75件)では、少数で見直しに反対する意見があったが、早期事業完成のために、“できるだけ移転を少なくする”、“現在の道路を生かした計画に見直す”などの意見が非常に多く出された。
- ・地区外(15件)では、地区内に比べて見直しに反対する意見が目立った。見直しの意見では、換地の見直しとして、“細分化しないでまとめて換地する”、“道路幅を1割程度縮めて余った公共用地を環境整備に充てる”などの意見がでていた。

### < チサン団地 >

- ・全般的に見直しとは関係ない意見が多く、見直しに否定的な意見も目立った。
- ・見直しに関する意見では、“屋敷通りは緑が豊かなので幹線道路にする必要はない”、“既存集落地域はできるだけ残す”、“まず幹線道路を整備し下水を通すなどしてから長いスパンで考える”などの意見がでていた。

# アンケート結果の概要について

## 総

## 評

- ・今回のアンケート結果から、直接本事業の見直しを問う、問9 に対し、大多数で賛同する回答を得ることができ、北新宿第二土地区画整理事業の“事業計画の見直し”を多くの方が望んでいる”と判断できます。
- ・見直しの考え方を問う、問7をみると、特に地区内の区画整理権利者では、移転費の縮減等、早期事業完了・整備に直結する設問には多くの賛同がありますが、まちづくり上必要であっても地元負担や事業負担に繋がる可能性が少しでも感じられる設問には否定的か“分からない”とする回答が他の設問に比べて多いものとなっています。
- ・回答結果を押し並べて見ると、“区画道路の幅員が多少狭まって整備水準が低下しても”、“今ある道路をいかして移転費など事業費を縮減し”、“少しでも早く事業を完成させる”、ことを多くの方が望んでいることが伺えます。特に、地区内の区画整理権利者では、現在の生活環境を改善するため、“早期事業完成を何よりも優先させてほしい”という切実な思いがアンケート結果から伺えます。